

明治大学大学院情報コミュニケーション研究科

特別講義 & 学際研究 I

<メディア文化と越境対話>

再考：方法としてのトランスアジア

岩渕 功一教授

岩渕功一教授は、現在オーストラリアのモナシュ大学メディア、フィルム、ジャーナリズム学部において教鞭をとられています。ご著書『トランスナショナル・ジャパナーポピュラー文化ーアジアをつなぐポピュラー文化』（岩波書店 2001年）、*Recentring Globalization: Popular Culture and Japanese Transnationalism*（Duke University Press、2002）等において、1990年代以降のアジアにおけるポップ・カルチャーの越境と交流の政治的・社会的意味を先駆的にとらえ、その後の東アジアのメディア文化研究に多大な影響を与えてこられました。本講義では、岩波現代文庫から2016年に復刊した『トランスナショナル・ジャパナーポピュラー文化がアジアをひらく』を題材にして、メディア文化のグローバル化をめぐる21世紀の新たな動向に目を配りながら、同著が先駆的に提示した1990年代以降のアジア地域におけるメディア文化の越境と交流の政治的・社会的意味を今一度とらえ返して、日本と<アジア>との間のつながり方や対話の可能性についてお話しいたします。



日時●2019年6月3日（月）15:40～ 申込・参加費**不要**

会場●明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント 3階 4031教室

言語●講演、質疑応答ともに**日本語**

主催●明治大学大学院情報コミュニケーション研究科

お問い合わせ先●明治大学大学院情報コミュニケーション研究科

http://www.meiji.ac.jp/dai_in/infocom/

